

窓口業務は4日から

市民会館は5日から

窓口業務は
1月4日(火)の午前8時30分から平常どおり行います。

住民票の取次所は
かどや手芸店(東向日駅前)は1月5日(水)から、山口たばこ店(西向日駅前)西川時計店(国鉄向日町駅前)は、4日(火)から平常どおり行います。



年始の業務案内

休み中の出生・死亡・婚姻届は
市役所の用務員室で受け付けします。

ゴミの収集は
1月5日(水)から平常どおり行います。ゴミは収集日の午前8時までに必ず指定の場所へ出して下さい。

し尿くみとりは
1月6日(木)から平常どおり行います。作業能

年始(1月1日~3日)の急患はこちらへ!

内科・小児科
診療所 乙訓休日急診診療所(長岡京市今里北ノ町39-4 電話9339-3320)

工業統計調査にご協力をお願いします

通産省では、現在「工業統計調査」を実施しています。工業統計調査は、製造業について、毎年十二月三十一日現在で、すべての製造業を全国一斉に調査するものです。

調査員が各製造業事業所をおうかがいしていますので、ご協力くださるようお願いいたします。

調査員が各製造業事業所をおうかがいしていますので、ご協力くださるようお願いいたします。

この調査によってわが国の製造業の実態が明らかに

なり。調査のデータは製造業のみなさんが、各種製品の生産・販売プランを立てられる際の参考になるのをはじめ、たとえば、都市開発や下水道計画の資料となるなど、わたしたち国民生活の向上に広く活用されます。

みなさんにご記入いただいた調査票は、統計以外の目的に使われることは絶対ありませんので、安心してありのままをお書きください。

お問い合わせ 企画課調査係 内線 277



市史編さん活動日誌から③④

大正期の乙訓の政局

山本四郎(京都女子大学教授)

大正四年三月二十五日の総選挙は、前年末の議院解散の結果で、与党擁護の大干渉はこの時期から始まる。当時は大選挙区制で、向日町では川崎安之助が津田屋を事務所とし、稲本源兵衛・川崎徳之助が参謀、片岡直温(なおほる)は大西吾一方に陣取り、中野米蔵・井上英次郎が参謀、国民党の牧野充安が富永屋を根拠に五十橋駿夫・福田宗五郎が参謀、結果は片岡一位、川崎二位であるが、乙訓郡では川崎七四九票、牧野六〇票、片岡二〇票で、川崎が圧倒的強味をみせた。政友会は惨敗する。

大正六年四月二〇日寺内閣下の総選挙では、片岡・長田桃蔵(政)・神谷卓男(国)・川崎・山口俊一が当選するが、乙訓では川崎が六三八票と圧倒的につよ、長田一〇一票、神谷六一票である。この選挙で『日出新聞』は、府下には三般政治家が多く、政・憲・国(なおほる)が景気のいい方へつくと言う。(憲は憲政会同志会と小会派が合してできた)。

要するに当時はどの政党を支持するかが明確でなく、羽振りのよい政友会に傾く。そのことをよく示したのが、原政友会内閣成立直前の状況である。寺内内閣で政友会は勢力を伸ばした。七年の郡議選では、憲政派は

辻筆次郎を立て、政友派は湯川多一郎が出馬し、郡内の勢力は二分された。森川大原・友岡川新神足村の村長らが湯川を応援した。湯川は敗れたが、憲政会絶対優勢は揺らぐ。かくて十月の府議選では、京阪電車開通問題から壯年派と長老派が対立し、壯年派で政友会に入党者がふえた。かくして政友会の井上英次郎が五七六対五七三の三票差で憲政派の辻筆次郎を破った。次期の一二年の府議選では前同様二人と対決となり、今度は辻が一〇九七票、井上を三票差で破っている。この直後選挙無効問題が起こり紛糾を続ける。

1月10日は子宮ガン検診申込み日

申込み方法
▼とき 1月10日(月) 午前9時~午後4時
▼場所 市役所玄関ロビー
▼対象 30歳以上の婦人
※申込みには、住所・氏名・年齢・生年月日・電話番号・世帯主名が必要。また、返信用切手・封筒・必要事項を書いたものに限り、郵送でも受付します。申込みは代理の人でもけっこうです。

健康管理課 内線232

家庭不用品 ゆずり合い 取り次ぎコーナー

(ゆずります)
冷蔵庫.....1件 黒板.....1件
電気オルガン.....1件 敷断台.....1件

(ゆずってください)
ベビーバギー・学習机・剣道具一式・バイク・食堂テーブルセット・ガスストーブ

◇連絡先 経済課 内線256

■乳ガン検診を申込みれた方は検診が1日2日3日ですのお忘れなく■

1月の行事予定

老人福祉センター
◇休館日 1~4日(年始)・10日(月)・15日(祝)・16日(日)・24日(月)・30日(日)
◇新年名刺交換会 6日(木) 午前11時~午後3時
◇独居老人昼食会 7日(金)・21日(金) 午前11時30分~午後1時
◇血圧測定 7日(金)・20日(木) 午後1時30分~3時30分
◇高齢者職業相談 11日(火) 午前10時~午後4時
◇健康相談 14日(金)・28日(金) 午後2時~3時30分
◇セーフティクラブ発会式 13日(木) 午後2時~3時
◇スライド映写 31日(月) 午後1時~3時

ことば きこえ の教室 ⑱

ことばと発達(2)

◆3歳児のことば
三歳前後になると「自分デスル」という意志表示がはっきりしてきます。ことばの方も文と文がつながり、一応のまとまりをもった話になり、したがって三歳児検診の時に「ことばが遅い」ということで相談されるケースが多くなります。この時期は、お話をきいたり、テレビを見たりするのが好きになり、感情面もゆたかに育つ時期でもあります。だから、大人や兄弟・仲間とのやりとりの中で「自分デスル」という気持ちがはげまされ、そのことが誇りとなるようにかかわっていくことが必要とされます。さらに、おとなとの対話も受身的な態度でなく能動的にどんなお話ができ、親の語りに答えるとともに、そのことについて、親に話しかけるという「会話の継続」ができることが望ましいと言えます。

三歳から四歳にかけては、話しことばの一応の完成をみせる時期となります。助詞(て、に、を、はなど)はほとんどつかえるようにもなります。つなぐことばでは、「かき」などが使えるようになります。また、発音の診の時に「ことばが遅い」ということで相談されるケースが多くなります。この時期は、お話をきいたり、テレビを見たりするのが好きになり、感情面もゆたかに育つ時期でもあります。だから、大人や兄弟・仲間とのやりとりの中で「自分デスル」という気持ちがはげまされ、そのことが誇りとなるようにかかわっていくことが必要とされます。さらに、おとなとの対話も受身的な態度でなく能動的にどんなお話ができ、親の語りに答えるとともに、そのことについて、親に話しかけるという「会話の継続」ができることが望ましいと言えます。